



News from ENA City Assembly

議会だより

2022
March

No. 69

令和4年 3・1

発行／恵那市議会

編集／広報広聴特別委員会

〒509-7292

恵那市長島町正家一丁目1番地1

TEL 0573-26-2111 (内線403)

メールアドレス gikai@city.ena.lg.jp

HPアドレス <https://www.gikai.city.ena.lg.jp/>



始まります
新しくなった議場での議会



議会だより3月1日号

～ 目次 ～

議会の構成が決定しました……………	2～4
12月議会定例会提出議案の概要……………	5～6
議案議決結果……………	6
議会活動トピックス(リニア対策特別委員会視察)…	7
12月議会常任委員会報告……………	8～9
一般質問(8人登壇)……………	10～13
新しい議場の紹介……………	14～15
議会活動報告……………	15
主な出来事(恵那西工業団地安全祈願祭)	
表紙の説明……………	16

議会の構成が決定しました

令和3年第5回恵那市議会定例会において、新しく議長、副議長、監査委員が決まり、併せて常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員構成も決まりました。

恵那市議会では申し合わせにより、議長、副議長、監査委員、常任委員会委員、議会運営委員会委員の任期は1年としています。

議 長



鵜飼 伸 幸

副 議 長



町野 道 明

監 査 委 員



柘植 孝 彦

議長の抱負

皆様の推挙により再度、議長の職に就くこととなりました。誠に身に余る光栄であるとともに身に引き締まる思いでございます。

この一年間、新型コロナウイルス感染症対策に迫られるなか、迅速かつ適切なワクチン接種による市民の安心・安全の確保、東京オリンピックホストタウン事業を経たポーランド共和国との新たな交流、このような事業を議長として推進できたことは、皆様方のおかげであり感謝を申し上げます。

まだまだ予断を許さない新型コロナウイルス感染症への対策、待ったなしの人口減少、少子高齢化問題など、これらの課題が山積しています。そのような中、F I A世界ラリー選手権（WRC）日本ラウンドの開催や、第29回全国山城サミット恵那大会、市内の各地域イベントが、当たり前のように開催できることを願うばかりです。

議会と行政がしっかりと議論を交わし、総合計画及び行財政改革大綱を着実に推進し、7年後のリニア中央新幹線の開業、瑞浪恵那道路、国道418号線、幹線道路等のインフラ整備促進と、恵那市のまちづくりを確実に推進していきたいと思っています。

議会運営につきましては、議員の皆さん、小坂市長をはじめ、行政の支援、協力をいただき、議会と行政が一体となり、議長2年目の重責を果たしてまいります。

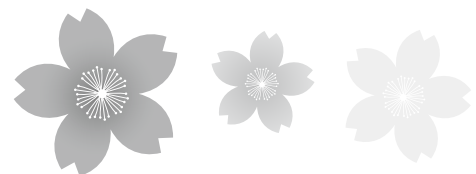
副議長の抱負

全議員の皆様よりご推挙を賜り、副議長に就任させていただきました。職務の責任の重さを五体で受け止め、感謝を忘れず一生懸命努めてまいります。議員の皆様、市民の皆様、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長をお支えし、議会運営が円滑に行えるように努めてまいります。また、執行部との二元代表制を確実に機能させ、議会の責任と役割を果たし、緊張感を持続させ、議論に努めてまいります。

総人口は既にピークを過ぎ、生産年齢人口も減少、超高齢化社会と人口減少が急速に進むなか、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴って、生命の大切さ、人の大切さを痛感しています。一日も早い収束と、地域経済の回復、人が輝くため、政治を見る力を養い、正しい行動に努め、恵那市の未来を託す、未来っ子の教育施策、成長を見守っていききたいと思います。

小坂市長の重点政策「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」を見据えて、市民の幸せと、より良い恵那市に発展するよう全力を尽くします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



常任委員会



総務文教委員会

目的

総務部、まちづくり企画部、消防本部、消防署、教育委員会、会計の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項の調査及び審査を行う。

定数 6人

市民福祉委員会

目的

市民サービス部、医療福祉部の所管に属する事項の調査及び審査を行う。

定数 6人



経済建設委員会

目的

商工観光部、農林部、建設部、水道環境部、農業委員会の所管に属する事項の調査及び審査を行う。

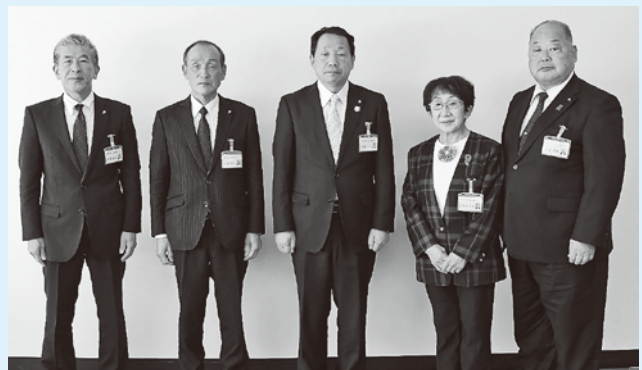
定数 6人

議会運営委員会

目的

議会運営を円滑に行うため、日程、議案の取り扱いなどについての協議を行う。また、請願や陳情などの審査も行う。

定数 5人



特別委員会



瑞浪恵那道路・新丸山ダム 建設促進特別委員会

目的

国道19号瑞浪恵那道路及び新丸山ダム建設促進と関連する諸問題について調査研究を行う。

定数 7人

広報広聴特別委員会

目的

議会だよりの編集発行を行うとともに、議会の活動等を広く市民に公開し、周知するための調査研究を行う。

定数 7人



リニア中央新幹線対策 特別委員会

目的

リニア中央新幹線の建設に関する諸問題について調査研究を行う。

定数 7人



委員会構成

令和3年11月29日現在

委員会名		委員氏名			
常任委員会	総務文教委員会	○1 伊藤 勝彦 2 秋山 佳寛 3 平林多津子	4 柘植 孝彦 5 千藤 安雄 ◎6 中嶋 元則		
	市民福祉委員会	○1 服部 紀史 2 山内 敏敬 3 安藤 直実	4 鵜飼 伸幸 5 後藤 康司 ◎6 西尾 努		
	経済建設委員会	○1 林 貴光 2 太田 敦之 3 猿渡 南江	4 佐々木 透 5 町野 道明 ◎6 堀 光明		
議会運営委員会		○1 柘植 孝彦 2 伊藤 勝彦 3 平林多津子	4 千藤 安雄 ◎5 後藤 康司		

委員会名		委員氏名			
特別委員会	瑞浪恵那道路・新丸山ダム建設促進特別委員会	○1 太田 敦之 2 林 貴光 3 山内 敏敬 4 秋山 佳寛	5 中嶋 元則 6 千藤 安雄 ◎7 柘植 孝彦		
	広報広聴特別委員会	○1 佐々木 透 2 平林多津子 3 西尾 努 4 中嶋 元則	5 安藤 直実 6 堀 光明 ◎7 服部 紀史		
	リニア中央新幹線対策特別委員会	○1 西尾 努 2 服部 紀史 3 伊藤 勝彦 4 猿渡 南江	5 町野 道明 6 堀 光明 ◎7 後藤 康司		

番号：委員会における議席番号 ◎委員長 ○副委員長

令和三年第五回定例会 条例の改正及び補正予算など 19件を承認・可決・同意しました

令和3年第五回定例会が11月29日から12月24日までの26日間にわたり開催されました。

初日に議会構成が行われ、恵那市議会議長、副議長の選挙、議席の指定を行い、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の構成委員が決定しました。

今回の議会に上程された議案は、条例の一部改正4件、その他3件、人事案件3件、補正予算8件、追加議案では補正予算1件の合計19件です。主な議案の内容は次のとおりです。

なお、議決結果は6ページの議決一覧表にて掲載してあります。

条例関係

○恵那市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い「出産育児一時金の支給額」及び「加算額の上限額」を変更するため、所要の改正を行う。

○恵那市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

市立恵那病院で行っている新生児の先天性代謝異常追加検査の項目を追加するため、所要の改正を行う。

○恵那市根の上高原国民休養地条例の一部改正

根の上高原国民休養地の施設の一部を廃止し、グランピング場を設置するため、所要の改正を行う。

○恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

指定管理者の指定

○2施設の指定管理者を指定

施設名	指定管理者
山岡診療所	地域医療振興協会
山岡花・野菜苗育苗施設	いきいきファーム株式会社

市道路線の認定

○長島町の1路線を市道に認定

長島町久須見地区のエコセンタ1恵那への接続道路、長島町376号線を認定する。

人事関係

○恵那市固定資産評価審査委員会委員の選任

荻山信幸氏の任期満了に伴い、新たに固定資産評価審査委員会委員を選任する。

西尾三永子氏（大井町）新任

○恵那市教育委員会委員の任命

樋田千史氏の任期満了に伴い、再び恵那市教育委員会委員を任命する。

樋田千史氏（大井町）再任

○恵那市監査委員の選任

西尾努氏の辞任に伴い、新たに恵那市監査委員を選任する。

柘植孝彦氏（飯地町）新任



山岡花・野菜苗育苗施設

補正予算関係

一般会計29億3,952万4千円
増額ほか6会計の補正予算を可決

○令和3年度補正予算関係

一般会計では、新型コロナウイルス対策に係る事業として、感染拡大に伴い売上げが減少している交通事業者への支援に2,885万5千円、県の感染症拡大防止協力金の市負担分として2,171万2千円などを計上した。

緊急対応を要する事業として、育休・病休及び退職職員の代替となる会計年度任用職員の雇用に1,619万7千円、三郷コミュニティセンター大規模改修工事に係る緊急対応に伴う工事等に1,463万円、補装具給付費や介護給付費、育成医療、サービス利用計画作成費などの自立支援給付費の増額が8,460万2千円、介護老人保健施設ひまわりの大規模改修工事に1億1,493万4千円、障がい児通所支援給付費等の増額が1,860万4千円、じん芥処理施設で使用する燃料価格の高騰による増額が1,717万円、企業誘致推進事業費として企業2社の生産設備の増強に伴う奨励金の交付に1,332万円、繰上償還を行うために1億9,700万円などを計上した。

寄付・国県支出金等を活用した事業として、国（総務省）の補助事業であるローカル10,000プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）を活用して株式会社恵那川上屋が実施する事業への支援に3,200万円、過疎地域持続的発展支援交付金の交付決定がされたことによる歳入の組み替えに2,000万円などを計上した。

人事異動に伴う人件費の増減による減額補正が3,778万7千円、公共施設整備基金積立金に8億円の積立、特別会計繰出金の減額、事業会計補助金・負担金・出資金の増減による減額補正が1,536万2千円などを計上した。

追加議案として、子育て世帯への臨時特別給付金事業として18歳以下の児童へ一人当たり10万円を給付する事業に7億1,369万1千円、住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して1世帯あたり10万円を給付する事業に5億2,620万円、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種に必要な経費として2億7,827万3千円を計上した。

12月議会定例会傍聴者数 17名

議場改修のため、本会議を仮議場（災害対策室）で行いました。傍聴は第1委員会室で、感染症対策のため6人を上限として実施しました。

12月議会定例会 議決結果

(全会一致分)							
議 案 名			採決結果	議 案 名			採決結果
条 例 関 係	恵那市国民健康保険条例の一部改正について		可決	補 正 予 算 関 係	令和3年度恵那市一般会計補正予算（第6号）		可決
	恵那市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について		可決		令和3年度恵那市一般会計補正予算（第8号）		可決
	恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決		令和3年度 恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決
人 事 関 係	恵那市固定資産評価審査委員会の委員の選任について（西尾三永子氏）		同意		令和3年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決
	恵那市教育委員会の委員の任命について（樋田千史氏）		同意		令和3年度恵那市水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決
	恵那市監査委員の選任について（柘植孝彦氏）		同意		令和3年度恵那市下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決
指 定 管 理	指定管理者の指定について（山岡診療所）		可決		令和3年度恵那市病院事業会計補正予算(第2号)		可決
	指定管理者の指定について（山岡花・野菜育苗施設）		可決		令和3年度 恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算(第1号)		可決
そ の 他	市道路線の認定について（長島町376号線）		可決				

(採決が分かれたもの)																					
議 案 名		会派・議員名	結 果	新 政 会										共産党		公	市	リ	無	無	
				堀 光 明	後 藤 康 司	鵜 飼 伸 幸	千 藤 安 雄	中 嶋 元 則	西 尾 努	柘 植 孝 彦	伊 藤 勝 彦	服 部 紀 史	太 田 敦 之	林 貴 光	猿 渡 南 江	平 林 多 津 子	町 野 道 明	安 藤 直 実	佐 々 木 透	秋 山 佳 寛	山 内 敏 敬
条例関係	恵那市根の上高原国民休養地条例の一部改正について		可 決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
補正予算関係	令和3年度 恵那市一般会計補正予算（第7号）		可 決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

共産党：日本共産党、公：公明党、市：市民ネット、リ：リベラルえな、無：無所属

○：賛成、×：反対



リニア中央新幹線対策特別委員会行政視察報告

11月26日(金)、リニア中央新幹線対策特別委員会の委員7名と正副議長が、調査・研究を目的として長野県大鹿村と飯田市のリニア中央新幹線建設工事関連施設等の視察を行いました。

▼視察先

長野県下伊那郡大鹿村

長野県飯田市

▼視察の内容

○大鹿村

大鹿村では、リニア中央新幹線トンネル掘削工事に伴う発生土仮置き場を2箇所と非常口2箇所、発生土を利用した公共施設整備事業として整備された総合グラウンドを視察しました。

大鹿村内のトンネル掘削工事による発生土は約300万立方メートルとされていますが、村内で処理できる量は、約40万立方メートルであり、残りの260万立方メートルについては村外へ搬出す

る必要があるとのことでした。

このため、県、JＲ、村が連携し、新たな発生土の仮置き場について協議を進めているとのことでした。

大鹿村はＩターンで移住された方が多く、移住された方々からは「自然を壊さないでほしい」「生態系に影響がでるのではないかなど」の意見も出されており、地元への丁寧な説明が必要不可欠です。

恵那市においても、工事用道路の確保、発生土の処理問題、送電線問題、騒音・環境問題など、様々な課題が発生すると考えられているため、県、JＲ、市、地元住民と具体的かつ迅速に事業を進めることができるよう協議を進めていく必要があります。

特にJＲに対しては、大鹿村で実績がある道路改良や公共施設の整備などを補償として進めるなど、恵那市としても強く要望していくことが必要ではないかと感じました。



発生土置き場を視察する委員



大鹿村役場で質疑する後藤委員長

○飯田市（施設の視察のみ）

飯田市は、(仮称)リニア中央新幹線長野県駅の建設に向けて、道路の改良工事、用地の確保、リニア建設工事での発生土を利用した代替地整備など着実に事業が進んでいました。

①(仮称)リニア中央新幹線長野県駅と軌道建設予定地

飯田市では、リニア中央新幹線の軌道建設予定地及び(仮称)リニア中央新幹線長野県駅の建設予定地を、現地で視察しました。

②代替地事業の現地

リニア建設に伴う発生土を再利用して代替地整備を行っている。

飯田市は、農地法及び農業振興地域の整備に関する法律の一部が改正されたことにより、農林水産大臣の指定を受け市が主体となつて農地転用の事務を行うことができるため、申請から許可までの期

間を約4割短縮し、事業の進捗率が大きく向上しています。

恵那市としても、住民の要望等を積極的に収集し、県、JＲとの連携を今まで以上に図りながら地元住民へ丁寧な説明を行い、各事業を積極的に進めていくことが望まれます。

③座光寺スマートＩＣ

スマートＩＣと、国、県、市道を連結することで高速道路の利便性向上、地域工業の生産性向上、地域農産物の支援、地域救急医療の支援、地域防災機能の向上、リニア開業時の広域観光支援など、各分野の効率化や活性化を目的として整備されています。

恵那市においても、恵那ＩＣ周辺の渋滞緩和をはじめ、リニア開業時における効果を最大限享受できるよう(仮称)恵那峡スマートＩＣの早期整備が望まれます。



座光寺スマートＩＣ



恵那市介護老人保健施設ひまわり大規模改修へ ～改修事業費に1億1,493万4千円を計上～

恵那市介護老人保健施設ひまわりは、平成11年4月に開設して22年が経過し、施設設備の老朽化が著しいため大規模改修を行います。これに合わせて、予約待機者の解消を図るため、施設内の空スペース2か所を活用し、居室に改造することで4床を増設します。

改修工事の主な内容は、トイレ・給排水管・空調設備・照明設備のリニューアルと屋上防水工事、施設内外の部分補修のほか、老朽化した厨房の改修及び設備の更新です。

【増床内容】

4床増床により、入所定員が95人から99人になります。

【改修期間】

令和4年2月から令和5年3月まで（予定）

【事業費】

大規模改修事業費 3億883万5千円

【財 源】

過疎対策事業債 3億870万円



改修工事予定の恵那市介護老人保健施設ひまわり(明智町)



恵那市根の上高原国民休養地条例の一部を改正

保古の湖周辺エリアに整備中のグランピング宿泊施設（グランピング場）を加えるととともに、根の上高原国民休養地の施設の一部を廃止するなど、条例の一部改正を賛成多数で可決すべきものと決しました。施行日は下記のとおりです。

現在、本年4月27日オープンを目指し整備を行っており、アフターコロナの新しい観光資源として市内全域でのアウトドアパークの拠点となるよう、指定管理者や関係事業者と連携を図り積極的な誘客活動により多くの皆さんに来場いただき、KPI（重要業績評価指標）の設定目標値（5年後）を上回ることが期待されます。

【追加する施設】 グランピング場

- 1.利用区分 宿泊
- 2.利用時間 午後3時から翌日の午前10時まで
- 3.利用料金 1人1泊 4万円

*実際の料金は、指定管理者が繁忙期、閑散期等の時期により上記の範囲内にて定める。

【廃止する施設】 保古自然館、グラウンドゴルフ場、運動広場及びテニスコート

【条例の施行日】 令和4年1月1日（保古自然館等の廃止）

令和4年4月27日（グランピング場の設置）

12月議会委員会報告

総務文教
委員会

三郷コミュニティセンター大規模改修工事 ～改修事業費に1,463万円を計上～

三郷コミュニティセンターは昭和52年竣工の施設で、劣化状況判定結果 C（劣化が進んでおり対策が必要）となり、最優先で令和3年の大規模改修と計画され、令和3年6月18日から改修工事を開始。改修工事を進める中で、アスベスト除去を安全に実施するため事務所移転が必要となり、一般会計補正予算で仮事務所の設置・各種回線の移設・再設置の委託、水道の口径を増径による分担金等の事業費1,463万円が計上、当委員会に付託され、全会一致で可決すべきものと決しました。

改修工事完了後は、安全性と利便性の向上により、「まちづくりの拠点」施設として、更なる利用と地域振興が期待されます。

【改修内容】

屋上防水、外壁塗装改修・クラック補修、内装改修、照明器具のLED化、高架水槽撤去、床改修、アスベスト撤去、トイレ洋式化、空調機器設置、バリアフリー化、調理台更新。

【工 期】

令和3年6月18日～令和4年3月10日

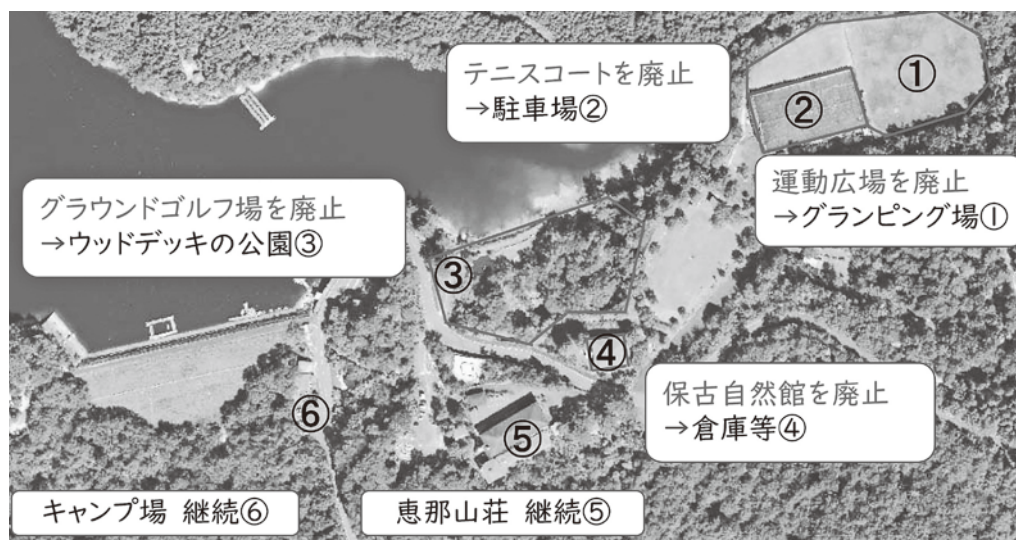
【事業費】

大規模改修事業費 1億2,133万円



改修工事中の三郷コミュニティセンター

保古の湖周辺施設配置図





おお た あつし
太田 敦之

持続可能な 地域づくりに向けて

令和4年度予算編成について

問 新型コロナウイルス感染症の影響による財源不足が懸念される中でも市民の安全で安心なサービスを進めるための新年度予算の基本的な考え方は？

答 市民のくらしと経済を支えるため新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するとともに既存事業の根本的な見直しをすすめ、長期財政計画に基づき財政運営を堅持する。「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本を柱とし、限られた財源の中で市の将来にとって有意義な投資を行い、SDGsやゼロカーボンシテイの実現に向けた視点も取り入れ、第4次市行財政改革行動計画に基づき着実な行財政改革に取り組んでいく。

(総務部長)

問 令和4年度の当初予算規模と財源確保、事業の予算計上は？

答 予算規模は、令和3年度当初予算と同程度を見込む。ふるさと納税の推進に加え、企業版ふるさと納税の活用を積極的に進め、住宅施策や企業誘致、普通財産の売却など、市税の増収につながるあらゆる事業、国県補助の活用や有利な起債活用など継続して取り組んでいく。事業では、総合計画の着実な実行と進捗管理を行っており、施策の展開に実効性の高い事業を選択し計上していきたい。持続可能な財政構造の強化では、地方債残高の減少や適切な基金額の確保を目指して、繰り上げ償還と基金積み立てを行っていき、施策実現に向かい予算計上していく。

(総務部長、まちづくり企画部長)

その他の質問

令和4年度の予算編成で各部署が重点的に推進していくべき施策案は？

一般質問



ひらばやし たづこ
平林 多津子

ごみ処理とリサイクルの 取り組みを考える

ごみ処理とリサイクルで
循環型社会の構築を

問 エコセンター恵那の現状と課題はどのようなものですか。

答 「エコセンター恵那」は可燃ごみをRDFという固形燃料にする施設で稼働開始から18年間経過。「リサイクルセンター」は24年経過している。施設の継続運用を行うためには適正な管理が必要である。恵那地域の「あおぞら」はストックヤードとして活用されている。課題としては、ごみの分別やリサイクルを推進することでSDGsの目標達成やCO2の削減につなげたいと思います。

問 ごみの減量化のためにどのようなことを行っていますか。

答 可燃ごみとして処理していた雑紙を資源として回収するようにしました。地域の資源回収拠点の整備を実施してきました。

問 市民や児童生徒が環境について学ぶ取り組みは。

恵那市のごみの現状とリサイクルについての出前講座などを行っています。地域資源回収拠点や集団資源回収活動を通してごみ減量化の取り組みを理解していただいています。

問 ごみの減量化や資源リサイクルの課題はどんなことですか。

答 ごみとして出されるものを資源として活用することが減量につながると考えます。市民の皆さんにはリサイクルできるものの分別についての理解とご協力をお願いしたい。可燃物中には約50%の「水分」が含まれており、今後その削減やフードロスの観点からも生ごみを出さない施策を考えたいと思います。

問 中津川市と協議し進めているごみ処理施設の広域化は現在どのように進んでいますか。

答 協議のスタートを切るために「ごみ処理広域化の推進に関する基本合意(案)」について、両市がそれぞれ意見調整を行っているところです。

その他の質問
多くの市民参加ができる選挙体制づくり

(水道環境部次長)



あ ん ど う な お み

安藤 直実

かんぽの宿恵那の 買収協議について

問 9月24日、議会へ「買収に向けて日本郵政(株)と協議する」と説明がありました。公の施設にするのかどうかの説明のない中で唐突な判断をした理由は。

答 9月6日、日本郵政(株)から土地有償譲渡届け出がきました。かんぽの宿恵那の土地2万487平方メートル、建物、工作物を「Yakushima 特定目的会社」へ売却するというものでした。9月27日までに買取協議に応じるかどうかを通知する必要がありました。

(建設部長)
特定目的会社は不動産等資産を流動化し証券化する会社であり、文書には譲渡先としてその会社のみ明記され、施設運営をどのような会社が行うかわからない状況でした。

(商工観光部長)
かんぽの宿恵那の土地の大部分は、市が昭和37年郵政省にかんぽの宿前身、簡易生命保険加入者福祉施設を誘致するために寄附した土地です。用途廃止した施設と共に他者へ売却することに市として疑問を感じ、国有財産特別措置法を参

考に、日本郵政(株)と協議することに顧問弁護士からも後押しいただきました。

(まちづくり企画部長)
問 市は、恵那市ならではの宿泊施設にしたいと言われているんですが具体的にどんな施設のことですか。

答 かんぽの宿恵那は恵那峡に訪れる観光客を宿泊に結びつける重要な施設です。また地域や事業者の宴会、慶事法事など市民のコミュニティやライフシーンでも活用される宿泊施設であることが望ましいと考えます。

(商工観光部長)
12月14日「かんぽの宿恵那活用検討委員会」中間報告

- ①市は取得にあたって、財政負担を生じさせないこと
- ②市は施設経営及び運営に、市費を投入しないこと
- ③当施設のみならず恵那峡及び恵那市の振興につながるよう観光協会ほか諸団体と協調し、恵那に根を下ろした宿泊施設となるような経営をすることが望ましい



あ き や ま よ し ひ ろ

秋山 佳寛

恵那市の交通諸問題・ コロナ関連問題

恵那市の交通諸問題

問 県下初めてのキッズゾーンが出来たがゾーン30との違いは？

答 キッズゾーンは園外活動の安全を確保、ゾーン30は生活道路における安全確保を目的としたもの。

(副教育長)
問 図書館休館日・文化センター閉館時、両施設の駐車場を市民に開放して頂けないか？

答 防犯及び放置車両防止等の目的に、駐車場の施錠を行っている。御理解をお願いします。

(教育委員会事務局次長)

コロナ関連

問 コロナ自粛で、地域の行事が簡素化になり市民のコミュニティ創りの場が減った。行政としての働きかけは。

答 現在も、地域自治区を通じて自治会活動支援、地域のまちづくり活動補助等による活動支援を行っています。今後もしつかり継続していきたいと考えています。

(まちづくり企画部次長)

問 教育現場での行事も変わったと聞かれましたが新方式の行事に不安はないか？

答 コロナの状況は、予測できないが、学校は柔軟に対応しており、状況に応じた活動方法を考え、取り組んでいくことが子どもたちのためであると考えております。

(副教育長)

問 コロナワクチンの接種に加えて、子宮頸がんワクチン接種の動きもあると聞かれました。

答 3回目のコロナワクチン接種と並行して、子宮頸がんワクチンは令和4年4月から積極的勧奨を行うことになりました。国の方針に従う予定です。

(医療福祉部長)
問 住民健診の受診率が減少したという国の報告があるが恵那市では？

答 恵那市も受診者の減少がある。二次検査を控えられた方もいますので個別に連絡を取って積極的受診勧奨を行っています。

(医療福祉部長)



さ わ た り み な え

猿 渡 南 江

恵那市の公共交通の 現在までの到達点について

問 公共交通について、市民の
声は聞いているか。

答 地域に適したバス路線の
再編ができるよう、地域
自治区の協力を頂きながら13地
域で移動手段の見直し検討を
行ってきた。

問 皆さんの声に対する市の方
針は。

答 ①公共交通を活用する、
支える活動の促進②持続
可能な地域公共交通ネットワー
クの形成③域外から来た人や高
齢者が抵抗なく自然に移動でき
る環境の整備。この実現にむけ
具体的な事業を展開していく。

問 各地域の利用状況と問題点
について。

答 山岡のデマンドバス・串
原の「くしばす」などは
利用増となっているが、コロナ
の影響もあり、岩村のデマンド
は横ばい、飯地は若干の減と
なっている。

問題点は、利用者の減、運転

手の確保がむずかしい、車両の
老朽化などがある。

問 問題点の解決は。

答 地域の協力、配車アプリを
活用した相乗りタクシー
や有償運送、当日予約制、運
転手の確保の取り組みなどが必
要。

問 町なか移動手段は。

答 バス路線の再編で、小型
車両を用いて市街地を循
環する仕組みを計画している。

問 高齢者の公共交通利用券は
認知症予防のためにも必要
だが、来年度も出していただけか。

答 フレイル予防の観点、公
共交通機関の支援を目的
に実施したが、来年度は財源問
題も含め、検討していく。

その他の質問

災害時の食料備蓄について

(医療福祉部次長)



ま ち の み ち あ さ

町 野 道 明

教育について

生命の大切さと学習支援

問 ①全国で事件、いじめで児
童が命を失う衝撃的出来事
があり、命の大切さについての教
育が必要ではないか。

答 ②学習支援として、恵那地域未
来塾の拡大や地域主導の方向性は。
また、特別支援学級の授業の学習
支援やタブレットの利用の取組み
は。

答 ①いじめ調査はアンケート
を実施して5年間保管し、
早期発見に努めております。また、
SOSの出し方をスクールカウ
ンセラー等から学んでいます。

生命の大切さは道徳や教育学活
全体で学んでいます。例えば、動
物病院の先生や助産師を講師とし
て、生命の大切さに気づき、考え
行動する子どもを育てております。
また、その他に学習補助員の確保、
心の天気アプリ、生涯にわたり実
社会を主体的に生きていくための
力を育むことが重要で、職場体験
学習の実施を行い、出前講座など
を工夫して行いました。また、生

理用品を12月から市内全ての小中
学校で、女子トイレへの無償設置
を試行的に行います。

②恵那地域未来塾は不得意分野の
克服や、進んで学習したいが、家
庭での学習が困難である生徒へ学
習支援を行うもので、教育委員会
が主導して始めましたが、地域が
主体となって運営する形へと移行
しています。上矢作の教室は地域
主導で運営しています。恵那北会
場は動きが始まっています。ところで
す。小中学校の特別支援学級の授
業は、ほぼ毎日タブレット端末が
活用され、自分のつまずき、ペー
スに合わせて学んで進め、力を伸ば
していけるように十分配慮したい。
そして、主体的に学べる新しいア
プリの導入を計画しています。

(副教育長)

その他の質問

インフラ整備について

恵那市の 歴史文化の活用



いとうかつひこ
伊藤勝彦

恵那市の歴史文化の活用～全国山城サミットと嚶鳴フォーラムについて～

問 「全国山城サミット」のねらいとこれまでの開催地等は。

答 全国の山城のある自治体等が交流を深め、地域の活性化を目的とする。高取城、鳥取城竹田城など、165の山城が加盟講演会や山城ツアー等が主な内容。

問 令和4年恵那市で行われる第29回全国山城サミットの基本的な考え方や開催コンセプト、さらには今後の方向性は。

答 織田と武田の攻防の地という戦国史を基に、山城と歴史を結び付け、全国に誇る恵那市の山城群として発掘・発信し、市内の一体感の醸成と地域活性化を目的とする。全国からの観光誘客を図るなど、持続可能なまちづくりに資するようにする。

（商工観光部長）

問 「嚶鳴フォーラム」の開催の
ねらいや人物は。

答 平成19年、作家の童門冬二氏らの対談がきっかけ。先人を通して、まちづくり、人づく

り、心育での在り方を提言すること
がねらい。佐藤一斎をはじめ、
上杉鷹山、二宮尊徳らが代表人物。
問 「嚶鳴フォーラムin恵那
2022」の基本的な考え方は
答 これまでのフォーラムの内容を
バージョンアップし、先人の学
びを具体化する。「学び」の聖地恵那
市をPRし、「学び」を観光振興につな
ぐ。

問 「嚶鳴フォーラムin恵那2022」の基本的な考え方は。

答 これまでのフォーラムの内容を
バージョンアップし、先人の学

びを具体化する。「学び」の聖地恵那市をPRし、「学び」を観光振興につなぐ。

問 想定しているフォーラムの内容は。

答 「恵那市三学のまち推進計画」
10年間の取組紹介、先人学習に

ついでの中学生サミット、佐藤一斎
下田歌子、山本芳翠等の先人顕彰活動
の紹介などを提案。

(教育委員会事務局次長)

問 恵那市の歴史文化を活用する計画や組織について、現状と今後の方向性は。

答
恵那市の歴史文化を活用した
ツーリズムを推進するため、全
国山城サミット、嚶鳴フォーラムを契
機に観光誘客や地域の活性化に諸機関
と連携し取り組む。

(商工觀光部長)

問 恵那峡における来年度に向けた新たな観光施策として

の計画は。

答 コロナ対策を講じながら密集が発生しないよう、春に

は、さくらライトアップ、秋にはもみじまつりを開催し、現在は冬のイベントとしてウインターイルミネーションを開催しています。

来年度においても、さくらまつりやビアガーデン、もみじまつりやウインターイルミネーションなど四季折々のイベントを計画しております。

(商工観光部長)

問 2022年は大井ダム竣工百年、2024年は完成百年、また恵那峡誕生百年という記念すべき年を迎えますが、どのような計画をお考えか。

大井ダム完成百年となる令和6年に向けた記念事業で

は、大井ダム発電所、恵那峡を舞台にした歴史文化、先人顕彰、自然共生、エネルギー政策、SDGsなど、多様なテーマ設定している事業を展開し、観光誘客のみなら

恵那峡の活性化計画と 観光施策について



さ さ き とおる
佐々木 透

ず、市民にとっても郷土の誇りと愛着を醸成し、地域活性化につなげて行きたいと考えています。

問 「アウトドア計画」の中の
グランピングについて、お
伺い致します。

答 グランピングは、テント設営や食事の準備の煩わしさ

から旅行者を開放し、宿泊するドーム型テントは空調も効くためホテル泊に近く、快適で贅沢なアウトドア時間を過ごしていただくことができます。現在建設中の保古の湖のグランピング場は、市街地から隔絶された場所です。森と湖に囲まれており、街灯一つない場所から星空を眺められるなど、自然体験の場としても適地と言えます。

(商工観光部長)



誕生100年を迎える恵那峡

装いも新たに、 議場がリニューアル

誰もが市議会に参加できる
環境が整備されました

1971年（昭和46年）の使用開始から50年が経ち老朽化した議場を、これからも、誰もが安心して便利に使い続けられる環境を整備するため、天井の耐震対策や床の段差解消・内装の木質化、老朽化した家具・空調設備・会議システムの更新などの改修工事を終えリニューアルしました。

議場及び傍聴席は段差の解消とスペースの確保、スロープを設置してバリアフリー化を図り、傍聴席には車いすやベビーカーで直接乗り入れられるよう、専用スペースを新たに設けました。

議場の内装の木質化と木製家具には、岐阜県が認証した「ぎふ証明材」を使用して、内装には地元産材のヒノキ材、木製家具には恵那市産材のヒノキ材を使用し、木の香りとぬくもりが感じられる明るい和モダンの雰囲気をもった議場となりました。

リニューアルした議場をご紹介します



◀南側通路からは車いすやベビーカーで直接乗り入れできるようになりました。



◀車いすやベビーカー3台分の専用スペースを確保



◀傍聴席は一般席38席、携帯型磁気ループが使用できるようになり、難聴者用補聴器などを使い、議会での発言内容が聞き取りやすくなります。

傍聴をもっと身近に

傍聴席は以前より広くなり、議場内をバリアフリー化したことにより、障がいのある方も気軽に傍聴できるようになりました。



議場内をバリアフリー化

議場内の段差を可能な限り解消しスロープを設置、登壇には昇降機能を設け、全席車いすでの使用が可能となりました。



◀県補助金を活用して導入した木製家具。市内産材のヒノキを使用

議場内にモニターを追加

各議員が一般質問を行う際は、発言時間や映像が映し出されます。また、議案の採決(賛否)が映し出されます。



◀議場内の壁は県補助金を活用し、県産材のヒノキを使用

3月議会からケーブルテレビで生放送を開始

市議会では、市民のライフスタイルやニーズの多様化に対応するため、いつでも、どこでも議会が傍聴できるよう、これまでパソコンやスマートフォン・タブレット等、インターネットによる議会中継・録画配信と、ケーブルテレビでの録画放送を行ってきました。新しい会議システムの導入により、3月議会からは、ケーブルテレビで本会議の生放送を開始します。これからは、インターネット環境がなくてもご自宅等で議会が傍聴できるようになります。



県内産材の利用促進と森林環境保全への取り組み



恵那市産材を使用した木製家具

岐阜県の令和3年度『清流の国ぎふ森林・環境税』を活用し、岐阜県の補助金「清流の国ぎふ市町村提案事業」「県産材需要拡大施設等整備事業」を活用し議場の改修を行いました。議場で傍聴する皆さんに県産木材を見て、ふれていただく機会を提供することで、森林保護・保全への理解と、県産木材の利用促進につなげるための取り組みです。

清流の国ぎふ



議会活動報告

11月

2日 リニア中央新幹線対策特別委員会

9日 市民福祉委員会視察勉強会（大垣市・各務原市）

10日 各派代表者会議
総務文教委員会視察勉強会（白川村）

18日 経済建設委員会視察勉強会（長野県塩尻市）

19日 議会運営委員会
各派代表者会議
全員協議会

24日 議会運営委員会
リニア中央新幹線対策特別委員会視察勉強会（長野県大鹿村・飯田市）

26日 恵那市議会定例会（初日）

29日 恵那市議会定例会（第2日）

30日 恵那市議会定例会（第2日）

12月

8日 中津川・恵那広域行政推進協議会政策会議勉強会

9日 総務文教委員会
市民福祉委員会
経済建設委員会

10日 全員協議会（リモート）
議会運営委員会

14日 全員協議会（リモート）

17日 恵那市議会定例会（第3日）
恵那西工業団地造成工事安全祈願祭

19日 恵那市議会定例会（第4日）

21日 議会だより編集会議

1月

22日 恵那市議会定例会（第5日）
24日 恵那市議会定例会（最終日）

13日 全員協議会（リモート）
17日 新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

18日 全員協議会（リモート）
20日 新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

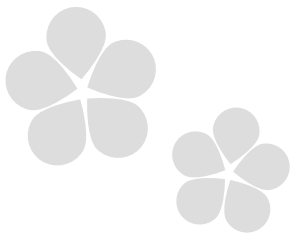
25日 議会運営委員会
29日 全員協議会（リモート）

29日 議会だより編集会議
新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

他市町村からの視察受入状況（1件）

7日 東京都北区議会

大河ドラマ館閉館後のシティプロモーションについて



主な出来事

安全に工事が進みますように！
恵那西工業団地造成工事はじまる

12月19日、市が進めている恵那西工業団地造成工事の安全祈願祭が、工事を請け負う地元業者など3社がつくる共同企業体の主催で行われました。

恵那西工業団地は、武並町竹折と三郷町野井地内の約195,300平方メートルに3区画を造成します。

工事期間は令和5年9月まで、分譲は同年12月に始まる予定です。

市では魅力ある雇用を増やしたり、既存企業活性化のために企業誘致を進めています。当該工業団地造成までには、研究関連施設の開設を計画していた大手企業の撤退などもありましたが、今後より良い企業の進出が期待されます。



安全祈願祭 刈初の儀

表紙の説明

改修後の議場で集合写真

新たな議場に入った瞬間、とにかく明るくなったのと、木材がふんだんに使用してあるため、木のなんともいい香りにまずは驚かされます。段差の解消やスロープの設置によるバリアフリー化も大きな目的でしたが、改修後の議場に入ってみると全体的に高低差がなくなっていて、傍聴席からの視線もかなり低く感じ、議場全体に一体感ができた気がします。3月議会から新しい議場での議会となります。多くの方に傍聴に訪れていただきたいと思います。

○改修工事中は仮議場で

また、12月

議会は、議場改修により議場の使用がでさなかったため、臨時的に西庁舎3階災害対策室を仮の議場としました。



仮の議場(西庁舎防災対策室)

編集後記

2021年は、コロナ終息に向かったかとも期待をした年末でありました。

しかし、年が明け一変、新たな変異株による、まさかの猛威に、予想外の第6波が訪れ、更なる不安に脅かされることとなりました。

暮らし、社会に及ぶ影響は未だ未曾有の事態であり、今後も冷静に事態を見極めて参ることが大切と考えています。

さて、表紙の通り、リニューアル致しました本会議場での定例会が始まり、環境面や安全性が活かされた新たな議場に、安心感と更に身が引き締まる思いであります。

市民の皆様にも新たな議場での雰囲気是非、感じて頂きたい思います。

4月からは新年度が始まり、今定例会はその為の大切な内容も沢山含まれています。

新議場でしっかりと議論をさせて頂き、令和4年度が恵那市にとって最も飛躍の年であります事と、一日も早いコロナの終息、そして新しい日常となります事を切に願います。

(T・S)

広報広聴特別委員会

委員長 服部紀史

副委員長 佐々木透

委員

平林多津子、西尾 努、
中嶋元則、安藤直実、

堀 光明

次回の議会だよりは、6月1日の発行を予定しています。